

2020年3月5日

## 新型コロナウイルスの感染予防・拡散防止に関する東京都シニアサッカー連盟の対策

3月15日(日)までに開催することになっていたシニア連盟主催・主管のリーグ戦、全国大会予選を延期することとしました。以降の試合においては現時点で想定し得るさまざまな選択肢や可能性を考慮した上で決定していきます。

今回の決定に至った背景として、新型コロナウイルスに関して、日本サッカー協会(JFA)が感染予防および拡散防止のために最大限の対策を講ずるとし3月15日(日)までの間、全てのイベントなどについて原則として延期または中止としたこと、そして9地域サッカー協会、47都道府県サッカー協会、各種連盟などに対し、JFAの対応策を共有・推奨し、それぞれの地域での対応を要請してきたことによります。

シニア連盟の大会は規模も小さく、また屋外競技であるため感染・拡散リスクも少ないと思われることより、連盟独自の対応策でリスクを減らし試合を開催することとしておりました。しかし、その後日本政府より小学校、中学校、高等学校等の一斉休校の要請他この1～2週間が感染・拡散を蔓延させてしまうかどうかの重要な時期であるとのことより、さらに踏み込み3月15日までの試合は中止としました。

各チーム、チームメンバー、審判員、グラウンドを準備していただいた方をはじめ、ご支援いただいている皆様には多大なるご迷惑、ご不便をおかけしますが、今般の状況からご賢察、ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

東京都シニアサッカー連盟  
委員長 深澤 光賢